

平成30年度 10月号



学校だより

横浜市立今宿小学校

＜今宿小学校学校教育目標＞

- 一人ひとりのよさを生かし、基礎基本の身についた子を育てます。
- 社会のルールを守り、豊かな人間関係を築ける子を育てます。
- 命のすばらしさや大切さを知り、心身の健康を自ら増進する子を育てます。
- 様々なふれあい活動を通して、お互いを認め合い共に生きる喜びを味わえる子を育てます。
- 様々な体験活動を通して、社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

一人ひとりのニーズに応じた教育の実現

副校長 島田恒弘



1日目 檜の実笛を作る前に顔を覗かせた富士山

6年生の修学旅行に続き、5年生が宿泊体験学習に行っていました。「みんなで団結ファイブ」(高学年らしく前向き協力あきらめないチャレンジ)のスローガンを掲げ、友達と声を掛け合い助け合って、考えて行動する姿が見られました。わずか2日間ではありますが、大きな成長を感じることができました。特に「協力」においては、例え

ば、キャンドルファイヤーにおいて実行委員の言葉に応え盛り上がりるとともに、足を痛めて椅子に腰かけていた友達の周りに集まってみんなで楽しもうとする姿に、感動させられました。

さて、今宿小学校では学校教育目標を実現するため、四つの具体的な活動に取り組んでいます。前回の「ふれあい活動」「体験活動」に続き、今回は「一人ひとりのニーズに応じた教育の実現」について紹介いたします。

まずは「授業改善」です。本校では、4年生以上の算数で、少人数指導を行っています。特に5、6年生は、2学級を4つのコースに分けて算数を指導しています。約40人の中では自信がもてない児童も、少人数の中で先生や友達とかかわりながら安心して学習しています。他の学年でも、児童に分かりやすい授業作りを心掛け、視覚的にわかるよう準備したり、板書したりしています。

次に「特別支援教育の充実」です。児童と保護者のニーズがあり、学校と相談して実施可能な場合、取り出して指導しています。また、週1日ですが特別支援教育支援員が、担任とともに学習支援をする取組もしています。

もう一つは「国際教室」の設置です。言葉や習慣の違いを理解しあい、互いに思いやりをもって学習できるよう、担当教員が個別に指導したり、学級に入って学習を支援したりしています。

全ての児童が楽しい学校生活を送れるよう、今後とも努めてまいります。